

2023 年度日本農業法学会学術大会シンポジウムのご案内

下記の要領で 2023 年度学術大会を開催しますので、ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

なお、シンポジウムは一般に公開しております。非会員で参加ご希望の方は資料代 1,000 円を大会当日受付にてお支払いください。

記

テーマ「食料・農業・農村基本法改正の法学的検討」

日時：2023 年 11 月 11 日（土）9 時 30 分～17 時 40 分 シンポジウム➡一般公開

2023 年 11 月 12 日（日）9 時 15 分～16 時 00 分 エクスカージョン➡本学会会員のみ

会場：東京農業大学 世田谷キャンパス農大アカデミアセンター地下 1 階 横井講堂

対面実施です。ハイフレックスでの同時配信はいたしませんので、予めご了承ください。

第 1 日<シンポジウム> 11 月 11 日(土)

9 時 30 分 第 1 報告 「総論・企画趣旨説明を兼ねて」

榎澤能生 会員(早稲田大学)

10 時 10 分 第 2 報告 「食料・農業・農村基本法の改正—基本法論からの考察—」

亀岡敏平 会員(大分大学)

10 時 50 分 第 3 報告 『農業の自然循環機能』をめぐって ——この規定の一層の深化・展開こそが課題——」

中島紀一 氏(茨城大学名誉教授)

11 時 30 分 第 3 報告コメント

加藤光一 会員(松山大学)

11 時 45 分 昼休み／理事・監事会(1 号館 113 教室)

13 時 15 分 会員総会

- 13時45分 第4報告 「食料・農業・農村政策と、環境政策の統合に向けて」
島村健 会員(神戸大学)
- 14時25分 第4報告コメント1 「里山の視点から見る農山村政策—基本法改正の視座—」
牛尾洋也 会員(龍谷大学)
- 14時40分 第4報告コメント2 「集落営農の現状と展望からみた農村政策」
楠本雅弘 会員(農山村地域経済研究所)
- 14時55分 第5報告 「都市農業の展開状況と食料・農業・農村基本法改正論議の検証」
五條満義 会員(東京農業大学)
- 15時25分 休憩
- 15時40分 総合討論
- 18時00分 懇親会 (学食・レストラン「すずしろ」) 会費 4,000円

第2日 <エクスカージョン> 11月12日(日)⇒本学会会員のみ

1. 集合 9時15分 東京農業大学世田谷キャンパス 中庭前広場
(※シンポジウム当日にも詳細にお知らせします)

2. 出発 9時20分 貸切バスにて出発

3. 趣旨(訪問地など)

2008年度・2015年度の大会時に続いて、東京農業大学開催における3回目のエクスカージョン実施となります。今回は、2015年制定の都市農業振興基本法制定後の関連法制の変化や、都市農地の「2022年問題」と言われた節目を経た現局面を意識しつつ、立地の面からいけば究極の都市農業と位置付けられる世田谷区内農業、並びに、新規参入者も活躍する町田市内農業について、関連する現場を訪問します。

これらの訪問を通じて、特に生産者と消費者の日常的な結びつき、相続農地の保全・利用をめぐる状況、都市農地貸借円滑化法の活用など、多角的な視点に基づきながら、都市農業の課題や展望を検証する企画とします。

4. 行程

東京農業大学 ⇒ 世田谷区内農家等 ⇒(昼食)⇒ 町田市内農家 ⇒ 解散 16時予定
(※解散:小田急線沿線の至便な駅を検討)

5. エクスカージョン費用 5,000円程度(昼食代別)

※問合せ先: 五條満義(東京農業大学) 研究室電話 03-5477-2362